

ことばの歳時記 ～6月の季語～

日本では、6月と10月に学生や企業の制服（夏服・冬服）を変更する「衣替え（ころもがえ）」が行われることが多く、春から夏へ、また秋から冬へという季節の移り変わりを視覚で感じることができます。

毎年旧暦6月を「水無月（みなづき）」と呼び、現在では新暦6月の別名としても用いています。水無月の由来には諸説があり、文字通り、梅雨が明けて水が涸れてなくなる月であると解釈されることが多いですが、逆に、田植が終わって田んぼに水を張る必要のある月「水張月（みずはりづき）」「水月（みなづき）」であるとする説もあります。

ヨーロッパには、6月に結婚した花嫁は幸せになれるという言い伝えがあり、6月に結婚式を挙げる花嫁をジューン・ブライド（6月の花嫁）と呼んでいます。この時期のヨーロッパは、1年中で最も雨が少なく良いお天気が続くこともあり、結婚式を挙げるカップルが多いというもうなずけます。

しとしとと雨の続く「梅雨（つゆ）」の時期にあたる日本の6月は、結婚式には向かない月とは言うものの、やはりジューン・ブライドに憧れている人も少なくなく、比較的安定した晴れの日が続く10月に次いで、結婚式の多い月だそうです。

词语的岁时记 6月的季语

在日本，6月和10月，学生和企业的制服（夏服・冬装）一般大都进行更换「衣服换季（Koromogae）」，从视觉上也能感觉到从春天到夏天，以及从秋天到冬天的季节变迁。

把每年的阴历6月称作「水无月（Minazuki）」，现在也作为太阳历6月的别名被使用着。有关水无月的由来，有着诸多说法，如字面那样，一般被解释为梅雨结束没有水的干涸的月。但也有与此相反的一说：插秧结束，有必要往稻田里灌水的月份「水张月（mizuharizuki）」，「水之月（minazuki）」。

在欧洲，有6月结婚的新娘能幸福的传说，在6月举行婚礼的新娘被称作 June Bride（6月的新娘）。这个时期的欧洲，据说也是1年中雨水最少，晴天持续，难怪举行婚礼的情侣较多。

虽说是在淅淅沥沥持续下雨的「梅雨（tsuyu）」时期的日本的6月，是不适合举行婚礼的月份，但是向往六月新娘的人也为数不少，据说仅次于气候比较稳定，晴天持续长久的10月，是第二个举办婚礼较多的月份。